

苗木城築城 500 年記念企画「苗木城築城 500 年展」を開催します

1526 年（大永 6 年）に苗木の北方にある植苗木を拠点としていた遠山氏が、苗木城を築城し移り住んでから 500 年となる今、時を越えて残された苗木城と遠山家に伝わる記録・物証を、苗木城築城 500 年の年表とともに紹介します。

■会期 令和 8 年 7 月 18 日（土曜日）～12 月 20 日（日曜日）

開館時間 9 時 30 分～17 時 00 分（入館は 16 時 30 分まで）

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

■場所 中津川市苗木遠山史料館 2 階 特別展示室（中津川市苗木 2897-2）

■観覧料 入館料のみ（一般 330 円、団体【10 人以上】270 円、中学生以下無料）

入館無料デー：8 月 11 日（火・祝）城山の日、10 月 4 日（日）苗木城まつり

11 月 3 日（火・祝）文化の日

■展示内容

- ・苗木城築城 500 年の年表
- ・太刀（国の重要文化財）吉則（寄託榊山神社） 展示期間：7 月 18 日～11 月 6 日
- ・太刀（国の重要文化財）近景（寄託神明神社） 展示期間：9 月 1 日～12 月 20 日
- ・脇差 兼帯（寄託個人） 展示期間：7 月 18 日～8 月 30 日、11 月 7 日～12 月 20 日
- ・白羅紗地九字紋陣羽織（伝遠山友政着用）、紺糸素懸威縦矧胸取二枚胴具足、
紺糸威二枚胴具足、萌葱麻地立涌尾長鳥文布直垂など
- ・藩主判形印（花押）、巴紋龍図背負い陣太鼓
- ・一雲入道の書状写、遠山藩主日記、高森根元記御家之譜巻図
- ・参勤交代紙人形
- ・姫の調度品（筥迫、簪など）
- ・ミニチュア道具
- ・苗木城絵図（苗木城内郭間取絵図 325 cm×471 cmなど） など

■関連講座

- ・演題 「遠山家と甲冑」：「苗木城築城 500 年展」に展示する甲冑を中心に、甲冑の歴史と遠山家の甲冑について解説します。
- ・日時 7 月 18 日（土曜日） 13 時 30 分～15 時 00 分
- ・場所 苗木遠山史料館 学習室
- ・講師 林 大智（学芸員）
- ・定員 30 人（申込先着順）
- ・費用 資料代 250 円（入館料免除）

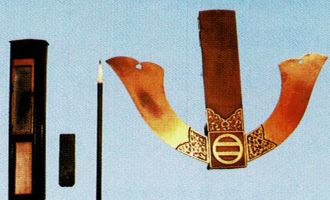
お問い合わせ先

文化スポーツ部 苗木遠山史料館 担当者：浅井
電話：0573-66-8181



苗木城築城 500年展

令和8年 7月18日(土)～12月20日(日)



紺糸素懸威縦劔胸取二枚胴具足
江戸時代後期

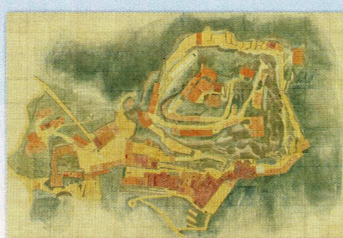
1526(大永6)年に苗木の北方にある植苗木を拠点としていた遠山氏が、苗木城を築城し移り住んでから500年となります。この企画展では、遠山友政公の陣羽織や遠山家の甲冑、時代ごとの苗木城絵図、国の重要文化財に指定された刀剣などを苗木城築城500年の年表とともに紹介します。



苗木城絵図
17世紀中頃



苗木城絵図
享保3(1718)年



苗木城内郭間取絵図
嘉永5(1852)年



苗木城御真景図
嘉永5(1852)年



中央自動車道「中津川IC」から国道257号線城山大橋経由15分
JR中央線「中津川駅」から北恵那交通バス「苗木」下車徒歩30分

中津川市 苗木遠山史料館

〒508-0101
岐阜県中津川市苗木2897-2 TEL.0573-66-8181 FAX.0573-66-9290
<https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/>

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
入館無料日 8月11日(火・祝)、10月4日(日)、11月3日(火・祝)
入館料 330円(団体270円)※団体は10人以上、中学生以下無料



苗木城の歴史

年代(西暦)	領主	苗木領の主な事項
1300年 1350年 1417年 1467年 1526年 1572年	加藤光高 遠山景信 遠山正景 遠山国景 遠山昌利 遠山景德 遠山正廉 遠山直廉	植苗木居館の時代から高森に築城(苗木城の創設) 苗木遠山氏の祖。苗木郷植苗木(福岡)居住。古い中山道(坂下一福岡一中野方)筋。居館は植苗木。近くに広恵寺建立。その後、広恵寺城(苗木城)が築城される。 室町幕府の奉公衆に。奉礼に「大般若波羅密多經」600巻を十二所権現に奉納。 応仁の乱。美濃は山名氏の西軍だが、苗木・明智・阿木氏は東軍(將軍方)に。 一雲入道。木曾川辺に高森城を築き、子の景德が城主に(苗木城の始まり)。 高森城主。 岩村から養子。 岩村から養子。岩村共々武田氏につくが、威徳寺合戦のあと矢傷死。苗木遠山氏は断絶。
1572年 1575年 1583年	遠山友勝 遠山友忠 遠山友政	飯場遠山の時代 京都三淵家から飯場遠山氏へ養子。信長により苗木城主に。 明照(阿寺)城(手賀野)から苗木城主に。領内一揆を鎮圧し恵那北部・加茂東部を支配。 友政 父と苗木城を去る。飯田から浜松・駿府。小田原合戦以降は館林の榊原康政の旗下に。
1583年 1588年	森 忠政 河尻直次	秀吉配下森氏の支配の時代 東濃は森氏支配(長可一忠政)。忠政は1600年2月に信濃松代へ移封。 1600年2月河尻直次が領主に。城代は関氏。8月、関は苗木城を去る。
1600年 1614年 1619年 1660年 1680年 1718年 1721年 1732年 1773年 1777年 1797年 1839年	初代 遠山友政 2代 遠山秀友 3代 遠山友貞 4代 遠山友春 5代 遠山友由 6代 遠山友将 7代 遠山友央 8代 遠山友明 9代 遠山友清 10代 遠山友随 11代 遠山友寿 12代 遠山友禄	遠山家 苗木藩大名の時代 関ヶ原合戦前に苗木城を奪還し18年振りの帰還。1万521石の大名となる。 雲林寺創建。1614年大坂冬の陣、桑名城守備。15年夏の陣で大坂へ。首級6。 友政から引継ぎ、苗木城内の建築をほぼ成立させる。 この頃 幕府に「苗木城絵図」を提出。新田開発進む。 鳥羽城請け取り。1702年 岩村城請け取り。下屋敷(並松)建つ。 南信濃大地震で城内大破。石垣23ヶ所修復。 天守建つ。1723年 苗木城修復を幕府へ報告。 相続の際、521石を幕府へ上知させられ、苗木領は10021石となる。 松平頼明から養子。幕府筆頭老中松平右近将監武元の実弟。 名刀近景を神明神社に寄進。飛騨大原騒動へ出兵。 11月家督相続。 苗木城下の新町火災、1806年 江戸屋敷類焼。1823年久田見村との山論解決。 1826年 家臣から上米。 経済の困難に家中(家臣)には俵約令、領内御用達から御用金。 1852年「苗木城間取絵図」(320×482cm)成る。同年西野準之介「苗木城御真景図」。 1860年 幕府奏者番に。1861年 幕府重役(若年寄)に。1863年 二ノ丸御二階を改修。 1864年 若年寄に再任。
1868年 1869年 1870年 1871年	遠山友禄 知事	明治時代へ 明治政府に帰順。信濃出兵。 版籍奉還。苗木藩知事に。山の中屋敷に移る。 藩政改革を遂行。俸禄返還と帰農、廃仏廃寺。 2月、苗木城を解体、売却。7月 廃藩置県で苗木藩の歴史は終幕。友禄は華族に。

※1964年「苗木城址」が岐阜県史跡に。1981年「苗木城跡」が国指定史跡に。

中津川市 苗木遠山史料館

Naegi Toyama Historical Museum